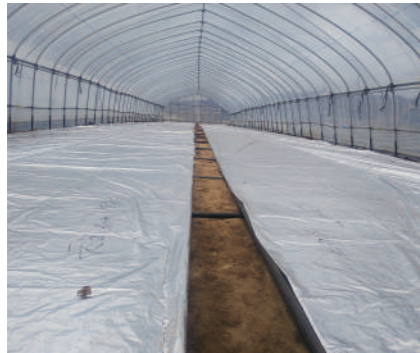


水稻育苗作業省力化試験

JAたきかわ

新堂 勉



試験区①



試験区②



試験区③

試験目的

水稻育苗作業省力化試験

試験作物 及び品種

水稻育苗(ゆめぴりか、ななつぼし)

試験資材 及び数量(規格)

太陽シート(300cm×50m) 3本

慣行資材

シルバーポリトウ(300cm×100m)

栽培方法

播種日
慣行区:4月中旬
試験区:4月中旬

定植日
慣行区:5月下旬
試験区:5月下旬

資材使用期間

4月中旬～5月上旬

試験区面積

1500㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

太陽シートは軽くて良い。
長さがハウスにピッタリの物がないのが難点。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

発芽するまで7日程度の差はあった。
昨年と今年は播種時に天候が悪い日が続き、温度が上がったときに掛けたいと思っても寒く、それが太陽シート側の初期生育に影響したと思われる。

定植時はその差は無くなった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 気温が高い年であればかけっぱなしで気にせず作業できる。

【問題点】: 播種時の天候に左右される。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

柔らかいので破れないように注意している。
また、終わった後に格納する際は、太陽シートに水滴がついている場合は乾かしてからでないと次年度くっつくので注意している。

モニター感想

播種時の気温が低い年が続く、資材の良さを最大限発揮するということにはならなかった。暑い年には非常に良い資材であると聞いているため、次年度に期待したい。

要望として、太陽シートの長さが選べるようになると非常に良いと思う。50mハウスで展張するには若干足りないため、好きな長さでカットしてもらえると使いやすそう。

JA担当者の感想(資材課 松浦課長)

播種時の気温が寒い日が続く、気温を確保しての展張とはならなかったため初期生育に差が出たとのことだった。

育苗後半で追いついたので安心したが、できれば全天候に対応できる資材があるとより良いと思う。

今後の使用について

改良してほしい。
長さを選べるようにしてもらいたい。

将来希望する資材について

全天候に対応できる資材。毎年の気候変動に負けない資材を希望したい。